

### FSCとは・・・



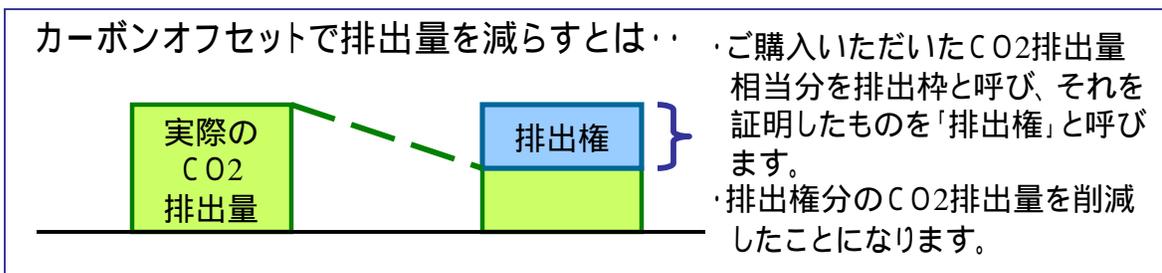
FSC(Forest Stewardship Council)は1993年、WWF(世界自然保護基金)などの環境団体や林業者、木材取引企業、先住民団体などによって組織された非営利の国際団体です。FSCの森林認証は、「環境保全の点から見て適切で、社会的な利益にかなない、経済的にも持続可能な森林管理」を推進することを目的としており、認証された森林から出された木材・木材製品にロゴマーク(左記)を付けて流通させるものです。FSCは、違法伐採等から森林を守る、安全安心のマークです。

ミニストップでは、国産のお箸にこだわり、FSC認証材である三重県尾鷲の速水林業の木材を使用しております。

### カーボンオフセットとは・・・

人間が活動するにはたくさんのエネルギーが使われますが、そのエネルギーの多くは石油や石炭などの化石燃料から取り出しています。これらを燃やすと二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)などの温室効果ガスが発生します。エネルギーをたくさん使えば、それだけの温室効果ガスを排出することになります。エネルギーの消費量は少ないほうが良いのですが、生活を営むうえで全く使わないわけにもいかないのが現状です。また個々で行うCO<sub>2</sub>の削減努力も大切ですが、たった一人ですることには限界があります。

カーボンオフセットは、省エネなどの努力をしても排出してしまう温暖化ガスを、別の場所で別の人が行う温室効果ガス削減事業の効果を得ることで、差し引きゼロにするという考え方です。



### 日本カーボンオフセット(COJ)が取得する排出権について

現在、世界各地で温室効果ガスを削減するプロジェクト(自然エネルギー事業など)が行われています。これによって、何もしなければ大気中に放出されていたはずのCO<sub>2</sub>を様々な方法で削減、吸収しています。最終的に放出されたCO<sub>2</sub>と本来出ていたはずのCO<sub>2</sub>量との差が「排出権」となります。

COJは、そのなかでも国連によって認定され、京都議定書の目標達成に活用できるタイプの排出権(クリーン開発メカニズム = CDM事業から生み出された排出権)を取得し、オフセットに活用しています。

オフセットにかかる費用は、このような温室効果ガス削減事業に利用し、京都議定書のCO<sub>2</sub>削減目標の達成に貢献します。

